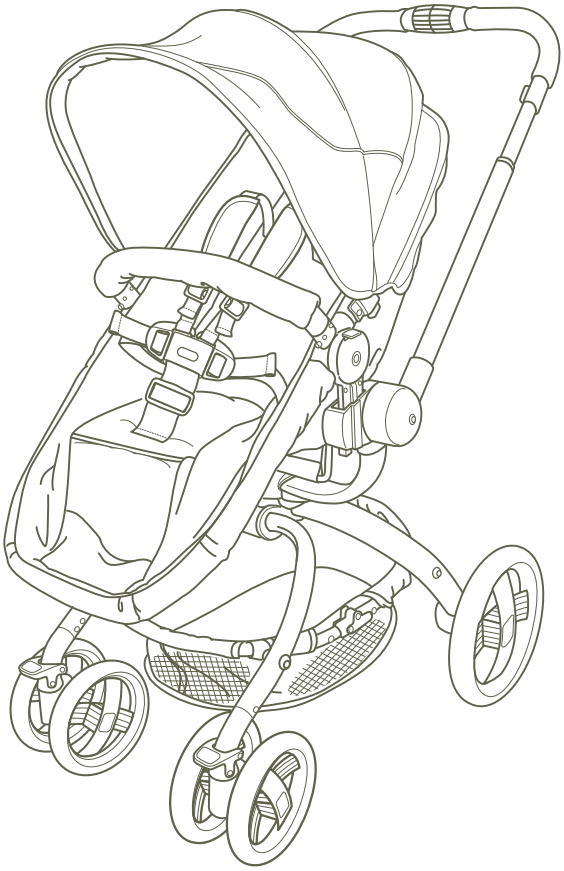
pigeon

取扱説明書 保証書付き

ピジョンベビーカー Pixy-turn（ピクシーターン）



もくじ

ご使用の前に ……2
製品特長……3
安全にお使いいただくために ……3
各部の名称 ……8

購入時の組み立てのしかた……10
シートユニットの組み立てのしかた……12
フロントガード・幌の組み立てのしかた……14
シートベルト（股ベルト・腰ベルト・肩ベルト）の使い方……16
シートベルトの取り付けと調節のしかた ……17
肩ベルトの取り外しかた長さ調節のしかた ……18
ストッパーの使い方（後輪のみ）……19
キャスターの使い方（前輪のみ）……20
シートユニットの回転（背面⇔対面の切り替え）のしかた ……21
シートユニットの変更（ベッド⇔イス）のしかた ……22
シートリクライニングの調節のしかた ……23
ハンドル高さの調節のしかた……24
ベビーカーのおりたたみ方 ……25
ベビーカーの開き方 ……27
カゴの使い方 ……28

日常点検について ……29
保管のしかた……31
アフターサービスについて ……31
SGマークの救済制度について……32
保証について……33
オプション（別売り）……34

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、
正しくお使いください。
本書は、お読みになった後、大切に保管してください。
取り外してある部品は、本書をよく読んで取り付けてください。
本品を他のお客様にお譲りになる際は、必ず本書も
合わせてお渡しください。

安全基準A形
（1ヵ月～36ヵ月まで）

ご使用の前に・・・

○この製品は、一般家庭で乳幼児を乗せて、外気浴、買い物などに使用するための
一人乗りベビーカー(乳母車)です。

○対象年齢:生後1ヵ月以上36ヵ月以内
(お子様の発育により個人差があります。お子様の体重の目安15kg以下)
※生後一ヵ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、
一ヵ月経過したお子様を示します。

○望ましい連続使用時間
寝かせた姿勢：2時間以内 (ベッド形状の使用は1ヵ月～7ヵ月まで (腰がすわっていない時期))
座らせた姿勢：1時間以内 (お子様が一人でお座りができるまでは、寝かせた状態でご使用ください。
イス形状の使用は7ヵ月～ (腰がすわってからの時期))

○開封後に33ページにある「保証書」に次の項目を記入してください。
- シリアルNo (後脚に貼ってあるシールに記載されている製造番号です。)
- お客様のお名前・ご住所・電話番号
- お買い求めになった販売店名
- 購入年月日

各部の名称について

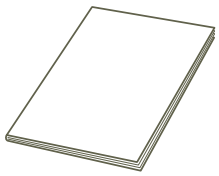
購入時の状態

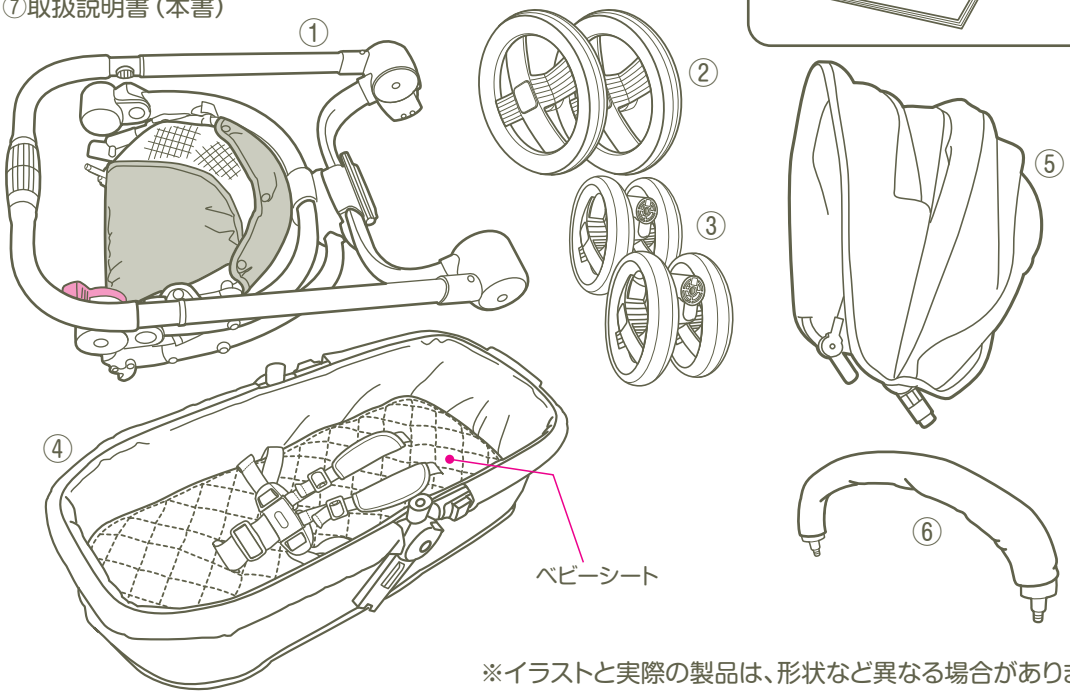
○開封後、本体と付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

①ベビーカー車体
②後輪 (大きいタイヤ) 2個
③前輪 (小さいタイヤ) 2セット
④シートユニット (イス/ベッド)
⑤幌
⑥ガード
⑦取扱説明書 (本書)

【ポリ袋入り】

⑦取扱説明書 (今ご覧の冊子です)





※イラストと実際の製品は、形状など異なる場合があります。

製品特長

【両対面切り替え機能 “ターン360” 搭載！】

●赤ちゃん快適！ ベッド形状～イス形状に変化
●ママはそのままで、シートユニットがくるっと回り赤ちゃんと対面！
●移動中の振動に強い安心の足回り

生後1ヵ月～36ヵ月	両　対　面　式	新SG基準（A形）適合

安全にお使いいただくために・・・

本書には製品を使用する上でご理解いただきたい警告及び注意事項を記載しています。
記載内容は、製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を事前に防止するためのものです。
記載内容を守られなかった場合は、お子様や保護者の方、および他の人々が重大な損害を受けるおそれがあります。
本書では取扱いを誤った結果、使用者、乳幼児に発生が予想される危害・損害の大きさや切迫度により項目を［警告］［注意］の2項目に分けて示しています。

表示	表示の内容
警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
注意	誤った取扱をすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。

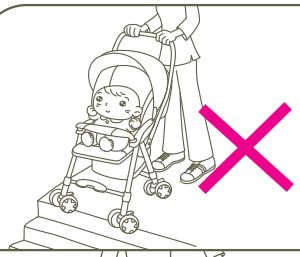
ご使用の際にお守りいただく内容を下記の表示マークで示しています。

表示マーク	マークの意味
	警告・注意を促す内容があることを示します
	禁止行為を示します

※警告の説明に使われているイラストのベビーカーは、一般的な機種でPixy-turnではない場合があります。

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

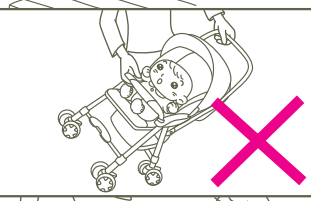
警告　**ベビーカーの転倒により乳幼児が落下したり、おりたたまれてしまい乳幼児が挟み込まれる恐れがあります。**



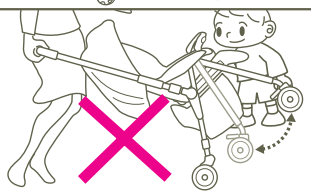
階段･エスカレーターなどの段差があるところでは使用しないでください。

砂場･砂浜･河原･砂利道･山道などの悪路で使用しないでください。
また、ぬかるみ･雪道など滑りやすい路面でも使用しないでください。

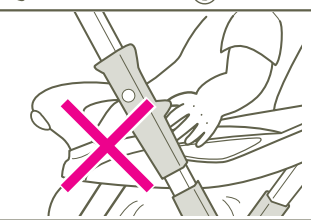
風の強い時、雷の時など悪天候の時は使用しないでください。
使用者も危害を受ける恐れがあります。



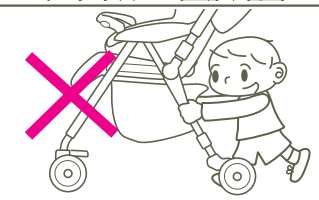
乳幼児を乗せたままベビーカーを持ち上げないでください。
バランスを崩したり足もとが見えなく、つまずいたりして乳幼児が落下する恐れがあります。



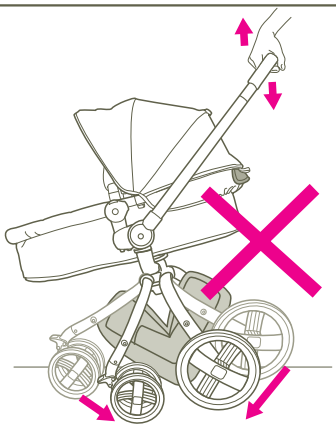
ベビーカーの開閉、座面の回転操作、リクライニング操作、幌･カゴなどの操作時には、他の人や乳幼児に触らせないでください。手足や指を挟んだりする恐れがあります。



乳幼児がシートユニットの周囲に手を乗せていると、ハンドル操作時に手や指をはさむ恐れがあります。
必ず手の位置を確認してください。

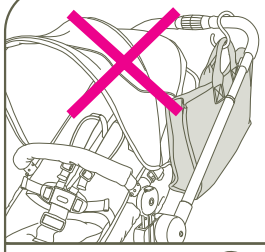


乳幼児、子供にベビーカーを操作させないでください。
手足をはさんだり、転倒するなど思わぬ事故が発生する恐れがあります。

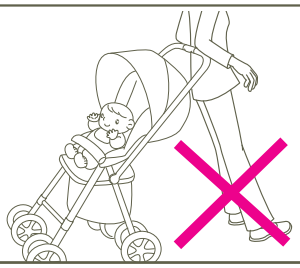


ベビーカーを開いた状態で、ハンドルを持ち、前後輪を持ち上げ、車体が閉じないことを確認してください。

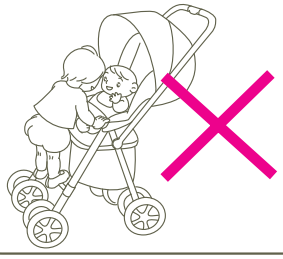
警告　ベビーカーの転倒により乳幼児が落下する恐れがあります。



カゴ以外の所に荷物を乗せたり、ハンドル部に荷物をつるしたりしないでください。



ベビーカーに寄りかかったり、乳幼児以外が座ったりするなど、過度の荷重をかけないでください。



二人以上の乳幼児を乗せないでください。

乳幼児を座面以外のところに乗せないでください。

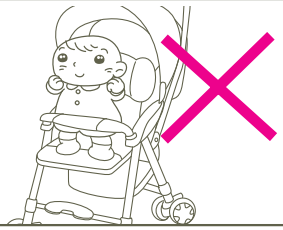
ベビーカーはゆっくり歩いて押してください。走ると車輪が振れて転倒する恐れや、乳幼児に悪影響を与える恐れがあります。

警告　乳幼児が落下する恐れがあります。

シートユニットを正しく取り付けた後に乳幼児を乗せてください。間違った取り付けは乳幼児が落下する恐れがあります。

乳幼児は座面の正しい位置に座らせ、シートベルト（股ベルト、腰ベルト、肩ベルト）を必ず締めて使用してください。

バックルを締めた後、シートベルト（股ベルト、腰ベルト、肩ベルト）にゆるみが無いこと、確実に取り付けられていることを確認してから使用してください。肩ベルトが長すぎる状態で使用した場合に、首に巻きついたりする恐れがあります。

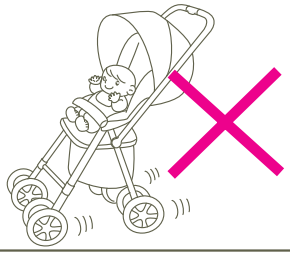
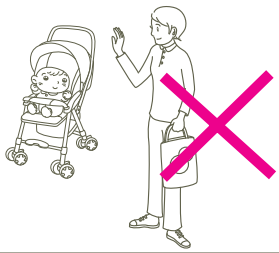
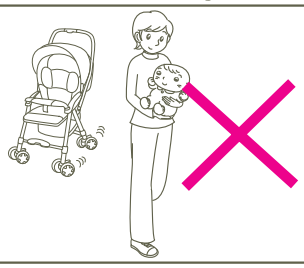
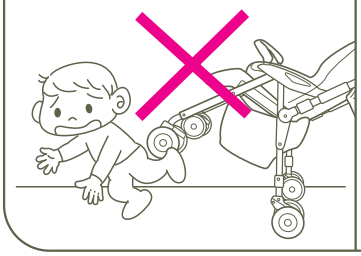


お子様は思わぬ動作をしますので、シートベルト（股ベルト、腰ベルト、肩ベルト）を締めていても乳幼児の抜け出しや立ち上がりには目を離さず十分注意してください。

乳幼児をベビーカーの中で立たせないでください。
ベッド状態でご使用の時も、シートベルトを必ず締めて使用してください。

ベッド状態でお子様を乗せたまま運ばないでください。
シートユニットは、自動車の車内に持ち込んで使用しないでください。
また、室内用のベッドやチェアとして使用しないでください。

警告 ベビーカーが動き出したり、転倒することにより乳幼児が落下する恐れがあります。

	ストッパーは構造上いかなる状態でもベビーカーを静止させることのできるものではありません。 ストッパーをかけていても動き出す恐れがあります。 ストッパーを過信しないでください。
	乳幼児や荷物を乗せたままベビーカーから離れないでください。 ストッパーをかけた状態でも離れないでください。
	乳幼児を乗せていない状態でも 必ずストッパーはかけてください。 空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。
	お子様が乗り降りする際は、ベビーカーが不安定になり転倒する恐れがありますので、しっかりと支えてください。

注意

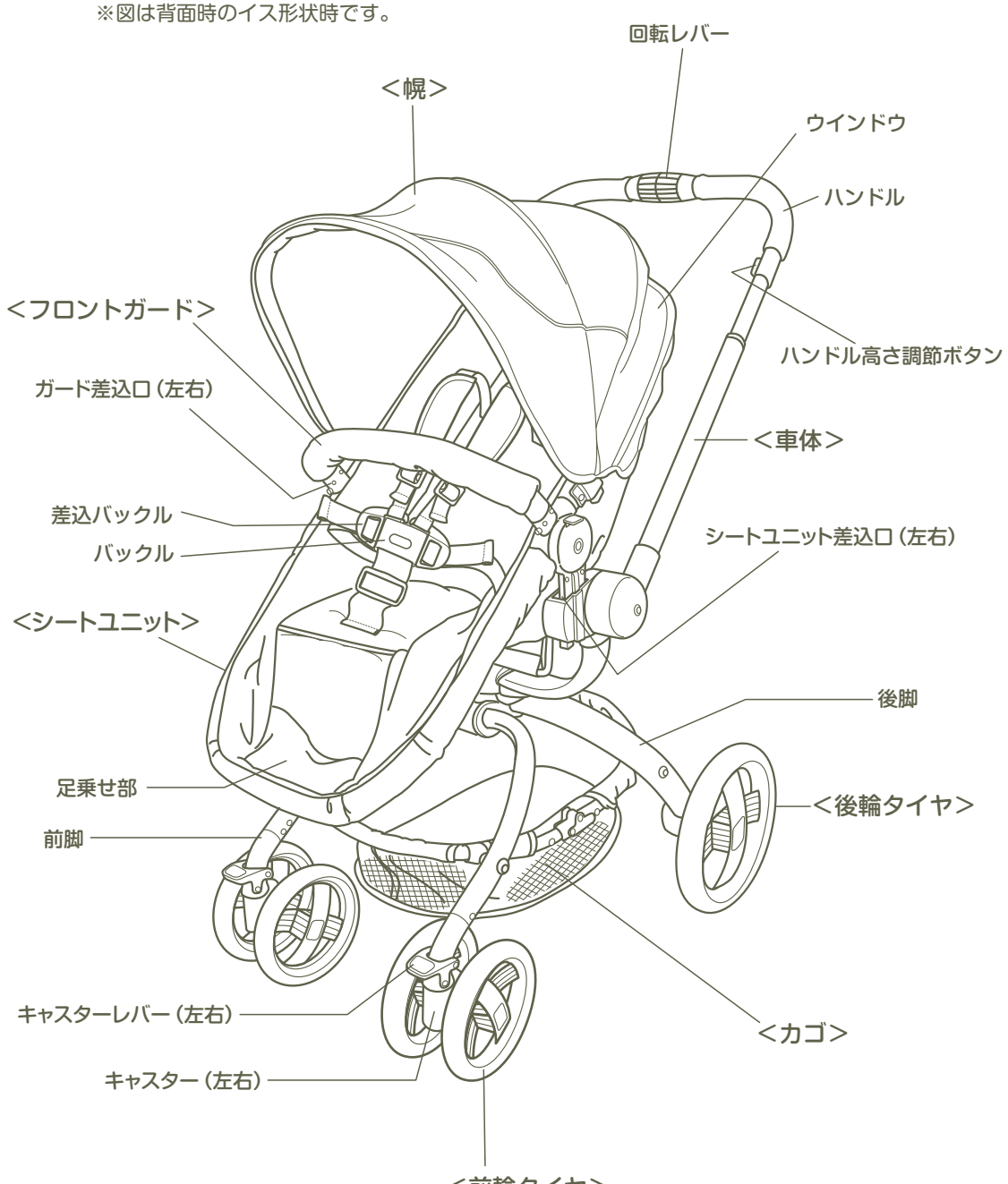
誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。

○雨や水のかかる所に放置しないでください。シートの損傷やサビ、カビの発生の原因となります。
○火の近くや高温になる場所、日光が常に当たりつづける場所での放置、保管は行わないでください。フレームの故障、変形や故障の原因となります。特に夏季車中での保管にご注意ください。フレームが熱くなりヤケドの恐れがあります。
○ベビーカーの保管は直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所をお選びください。やむなく屋外で保管する場合はカバーをお掛けください。
○ベビーカーの上に荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管しないでください。変形、故障の恐れがあります。
○大人が乗るなど過度の荷重をベビーカーにかけないでください。フレームの故障、変形の原因になります。
○カゴには5kg以上の荷物を乗せないでください。荷物はカゴ底に均等に荷重が加わるように乗せてください。走行が不安定になったりベビーカーが転倒する恐れがあります。
○乳幼児を乗せる以外の目的で使用しないでください。目的以外の使用は破損・故障・ケガなどの恐れがあります。
○体重16kg以上の乳幼児を乗せないでください。ベビーカーの破損・故障、乳幼児が落下するなどの恐れがあります。
○ベビーカー本体には、お子様や荷物を乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。ベビーカーの破損の原因となります。
○お子様の足が車輪や地面につく場合は、使用しないでください。足をケガする恐れがあります。
○1人座りができない乳幼児の場合はシートユニットをベッド状態で使用してください。
○乳幼児の頭がシートユニットのふちに当たる場合は、リクライニングを一番倒した状態で使用しないでください。
○フロントガードには過度の力を加えたり、必要以上に曲げたりしないでください。破損、故障の恐れがあります。
○フロントガードを引っ張って使用したり、振り回したりしないでください。破損の恐れがあります。
○使用のたびに、ネジ類や車輪のゆるみ・部品の欠損が無いか、動作に問題が無いかを確認してください。
○前輪を持ち上げたままの状態で走行しないでください。過度の荷重がベビーカーに加わり破損、故障の恐れがあります。
○段差を乗り越える場合は、前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。前輪を浮かさず無理に段差をのり越えようとすると前輪に衝撃が加わり破損・故障の原因になります。
○砂場、砂浜、水溜り、河原、砂利面など不安定な路面での使用は行わないでください。破損や故障の原因になります。
○踏切や排水溝の蓋の上の走行には十分注意してください。車輪が挟まったりして転倒などの危険があります。
○夏季の炎天下では路面からの熱によりベビーカー内の温度が上昇します。長時間の使用は避けてください。
○冬季はベビーカー内の温度も下がります。乳幼児が寒くないよう保温を行ってください。
○ベビーカーを分解、改造しないでください。
○破損、異常が発生した場合は、そのまま使用せず、必ず修理を受けてください。
○このベビーカーは、バス・電車などの乗り物内での使用を目的として設計されていません。
バスの中ではベビーカーを使用しないでください。
電車の中で、お客様の責任により使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒する恐れがありますので、必ずストッパーをかけて、十分に注意してご使用ください。
電車ご利用の際は、無理な乗り降りはしないでください。ベビーカーが自動ドアにはさまれてケガをする場合があります。
また、ホームと電車の段差、隙間には十分注意して乗降してください。

各部の名称（1）

組み立て時の状態 （前側）

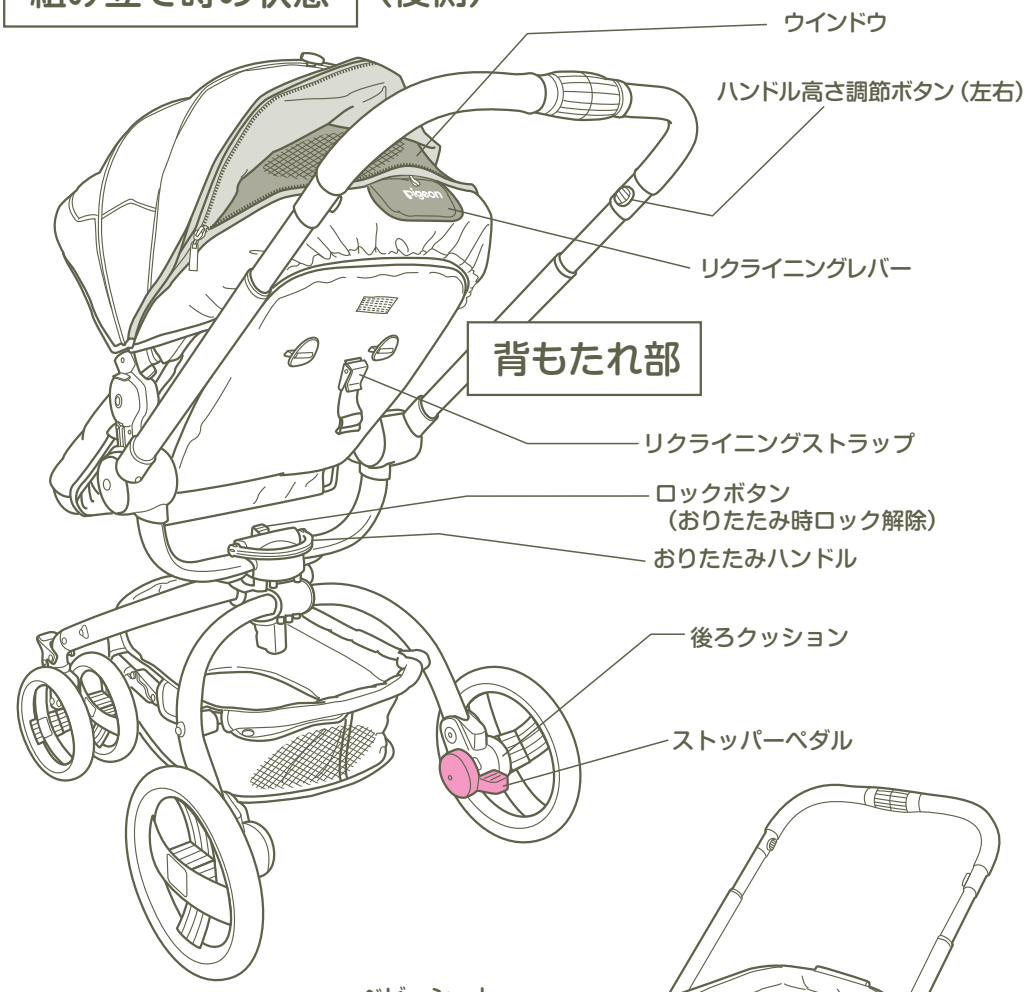
※図は背面時のイス形状時です。



※イス形状時には、ベビーシートは使用しないでください。

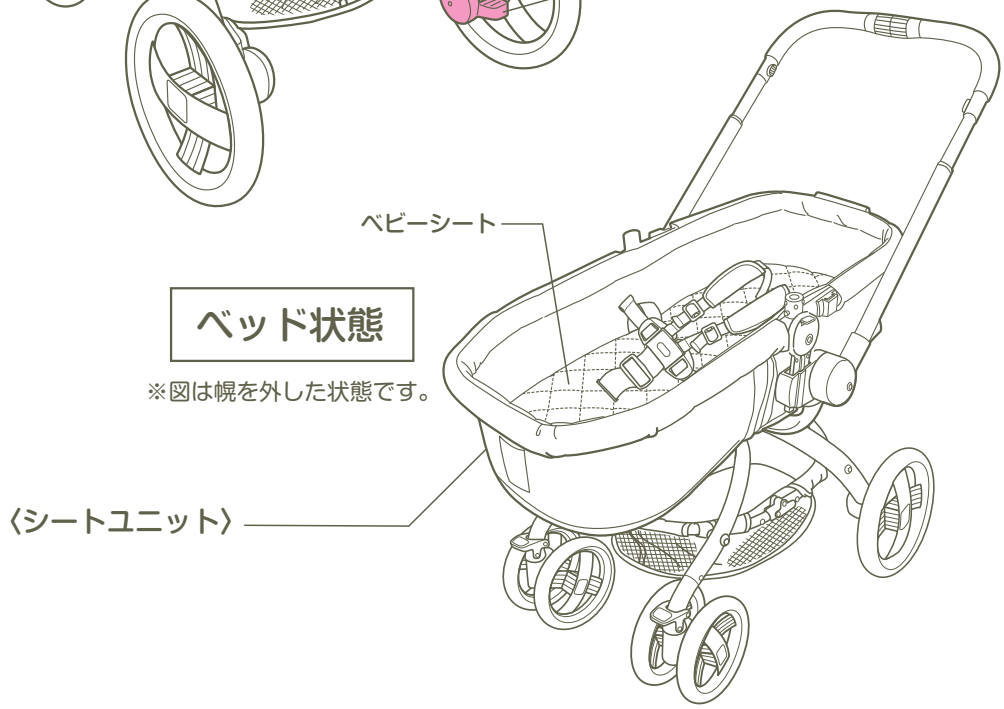
各部の名称（2）

組み立て時の状態（後側）



ベッド状態

※図は幌を外した状態です。



購入時の組み立てのしかた

⚠ 警告

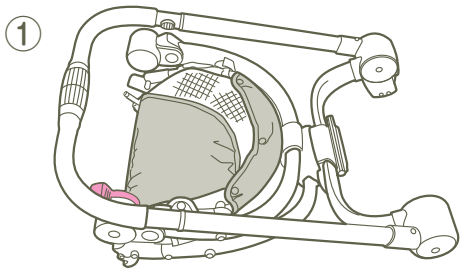
○ベビーカーの組み立て時は、そばに人(特に小さいお子様)を近づけないで行ってください。
指や手を挟んだりする恐れがあります。
○ベビーカーの組み立て、操作は必ず事前に平坦な路面でストッパーをロックしてから行ってください。
ロックしないと操作中にベビーカーが動きだしたり、転倒することによりお子様や第三者に危害を与える恐れがあります。

⚠ 注意

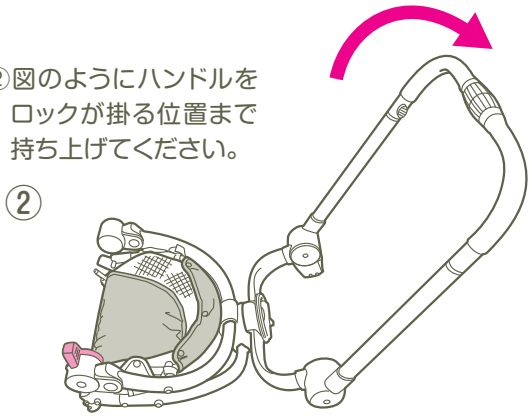
○商品がうまくはまらない場合は、一旦組み立てを中止し、取扱説明書の図と方法を再度確認してください。

本体車体の開き方

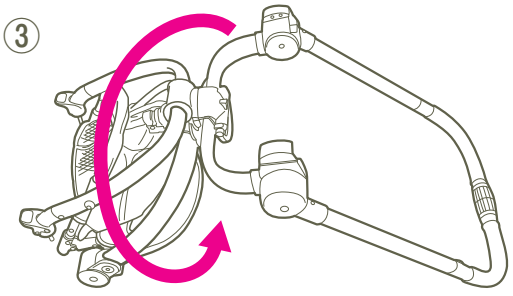
①ポリ袋から取り出し、図のようにベビーカー車体を床においてください。



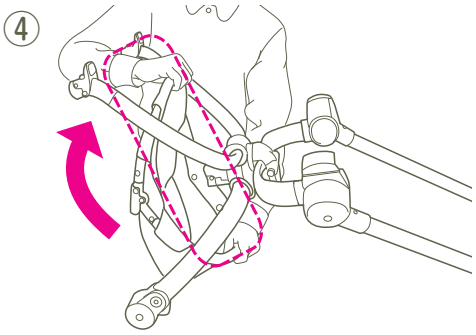
②図のようにハンドルをロックが掛る位置まで持ち上げてください。



③図のようにベビーカー車体を反転し、ハンドルを床につけます。
(ベビーカー車体を反転させる時は、回転レバーを持たないようにしてください。ロックが解除されハンドルが動いてしまう恐れがあります。)



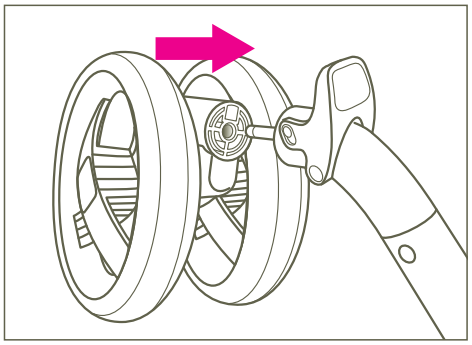
④図のように前脚パイプ側のカゴパイプの上端を持ちあげ、最後まで広げてください。
(両側のカゴ枠が水平になるまで)



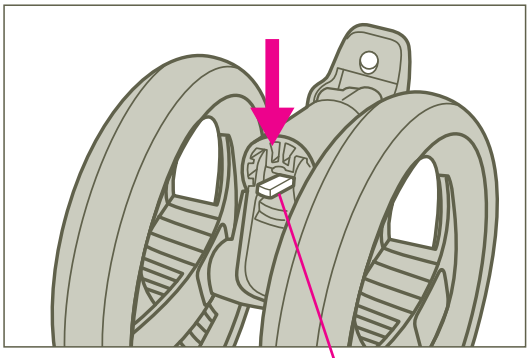
購入時の組み立てのしかた

前輪の取り付け方、外し方

（取り付け方）
図のように前輪を軸に挿入します。「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
完全にはまっていることを確認するために、引っ張ってみてください。
※タイヤに左右はありません。

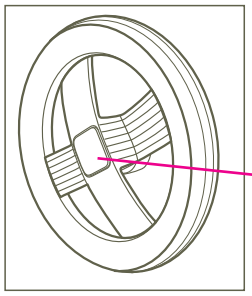


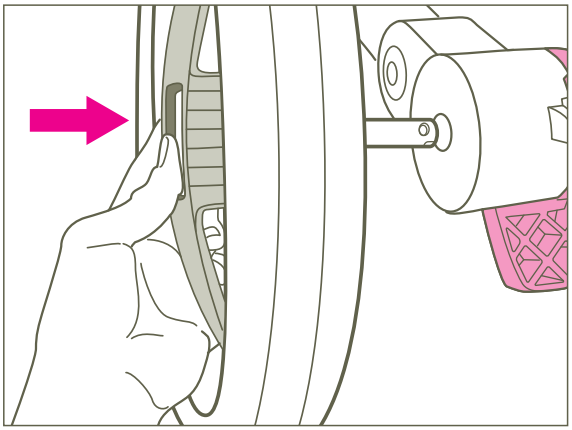
（外し方）
図のようにタイヤ下側にある白い取り外しレバーを矢印の方へ押しながら、タイヤを抜いてください。



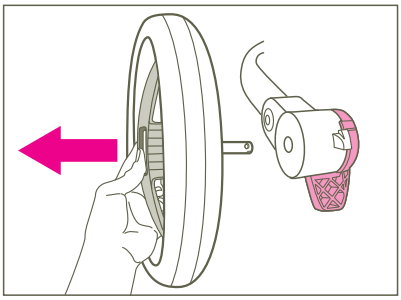
後輪の取り付け方、外し方

（取り付け方）
図のように後輪タイヤの中央ボタンを押しながら、後輪の軸を穴に挿入します。
完全にはまっていることを確認するために、引っ張ってみてください。
※タイヤに左右はありません。





（外し方）
図のように後輪タイヤの中央ボタンを押しながら、タイヤを抜いてください。



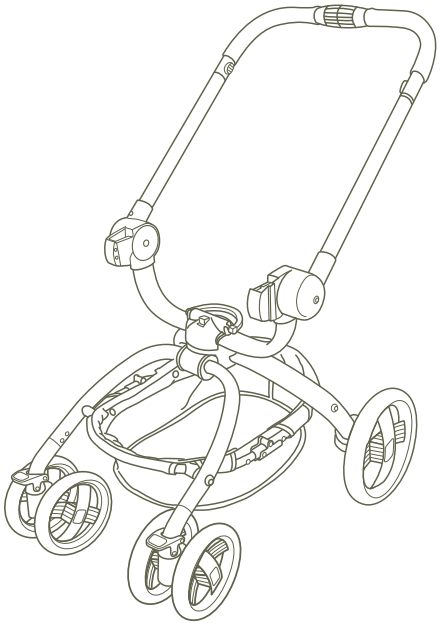
シートユニットの組み立てのしかた

⚠ 警告

○シートユニットの取り付け、取り外しを行う時は、必ずお子様が乗っていない状態で行ってください。
落下などの恐れがあります。

本体の状態

図のようにベビーカー車体を前輪が前に位置した状態にしてください。
（このとき、キャスターをロック（P20）し、ストッパーもロック（P19）してください。）



シートユニットの組み立てのしかた

シートユニットの取り付け方、外し方

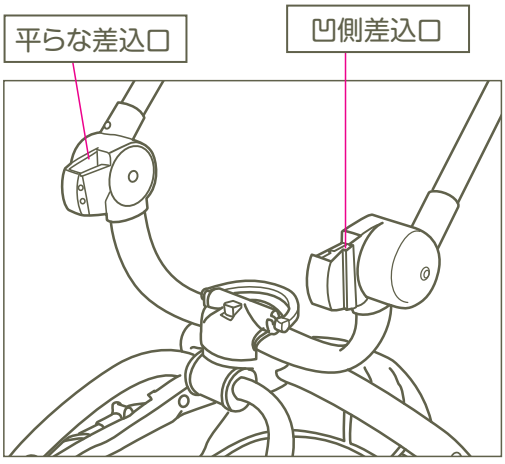
（取り付け方）

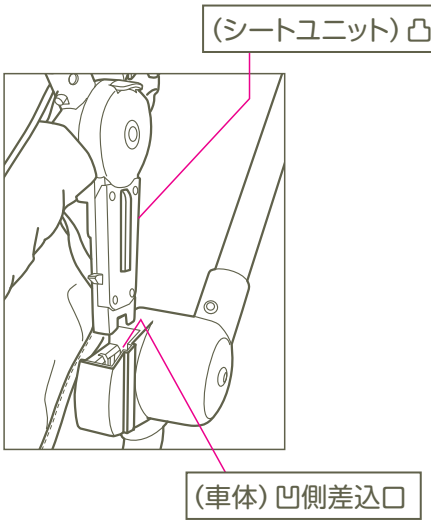
①シートユニット差込口には、「凹がある差込口」と、「平らな差込口」があります。

②差込口に対し、シートユニット差込側も「凸」と「平ら」なものがありますので、シートユニット差込口の凹に対し、シートユニットの凸側を差し込むようにセットしてください。

（「平ら」な方には、シートユニット側及び差込口側に▼があります。）

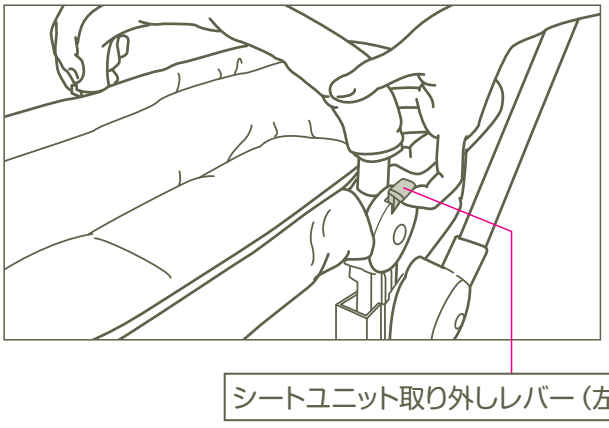
※完全にはまっているか、シートユニットを持ち上げ車体から抜けないことを確認してください。





（外し方）

図のようにシートユニット差込口付近のシートユニット取り外しレバーを左右同時に引き上げながら、シートユニットを持ち上げます。



フロントガード・幌の組み立てのしかた

⚠ 警告

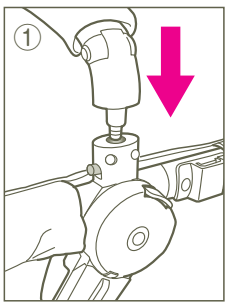
○フロントガードは、乳幼児の立ち上りやズレ落ち、抜け出しを防ぐものではありません。乳幼児を乗せる際は必ずシートベルトを締めてください。
○乳幼児がフロントガード取り付け部付近に手を乗せていると、ハンドル操作時に手や指を挟む恐れがあります。必ず手の位置を確認してください。
○フロントガードを持ってベビーカーを持ち運びしないでください。フロントガードの破損または、フロントガードが抜けたりする恐れがあります。
○フロントガードリリースボタンは乳幼児に操作させないでください。乳幼児が落下する恐れがあります。

⚠ 注意

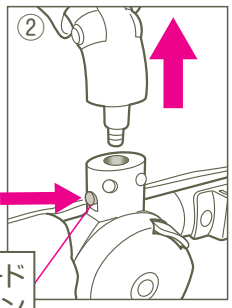
○フロントガードの着脱の際は指はさみに注意してください。
○フロントガードに過度の力を加えたり必要以上に曲げたりしないでください。
○フロントガードの片側を外した状態で引っ張って使用したり、振り回したりしないでください。また、反対側へ無理に曲げないでください。破損やケガの恐れがあります。

フロントガードの取り付け方、外し方

（取り付け方）
①図のようにフロントガードを「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んで取り付けてください。
（片側ずつ行ってください）
※フロントガードの左右はありません。
完全に取り付けられているか確認するために引張ってみてください。

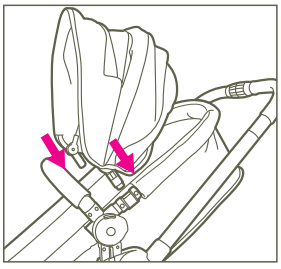


（取り外し方）
②外すには、フロントガードの両側のフロントガードリリースボタンを押しながら引抜いてください。

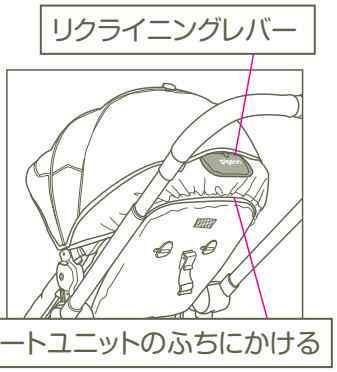


幌の取り付け方、外し方

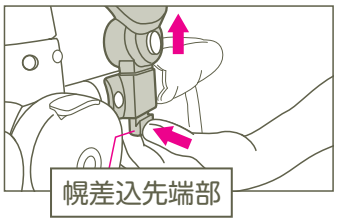
（取り付け方）
①図のように幌をしっかりと差し込んで取り付けてください。
完全に取り付けられているか確認するために引張ってみてください。



②幌はシートユニットふちにかけるようにし、リクライニングレバーが幌の穴から出るように取り付けを行います。
※幌を前後反対に取り付けないよう気をつけてください。



（外し方）①シートユニットにかけた幌を外します。
②図のように幌差込先端部を内側（矢印）の方向へ押しながら、幌を抜き取り外します。

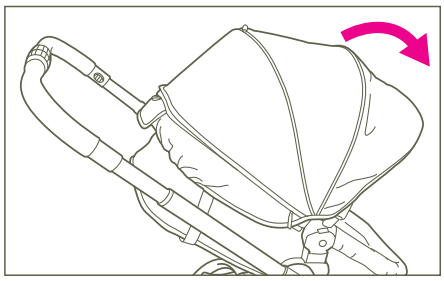


幌の使い方

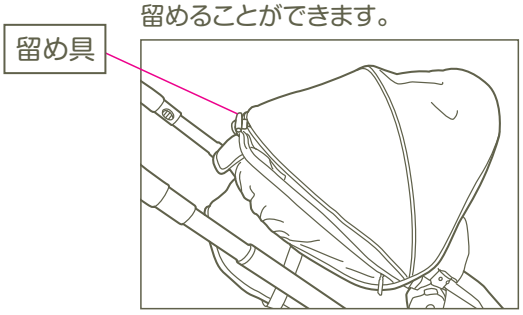
⚠ 注意

○幌は片側だけ抜いた状態で無理に引っ張ったり、曲げたりしないでください。
○幌の上に荷物を置いたり、荷重をかけたりしないでください。

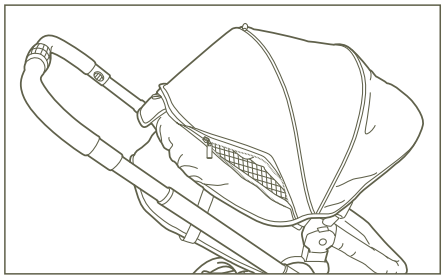
幌は広げる大きさを調節できます。
幌を前に広げます。



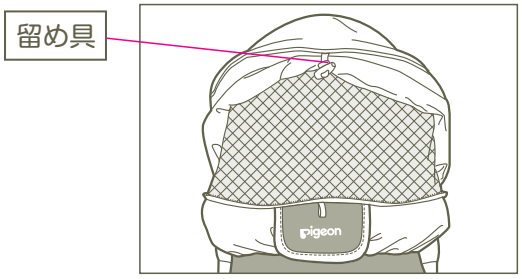
たたんで使用する場合は、留め具で留めることができます。



ウインドウを開けると、お子様のようすを見ることができます。
ファスナーを開いてウインドウを開けます。



開けた幌は留め具で留めます。

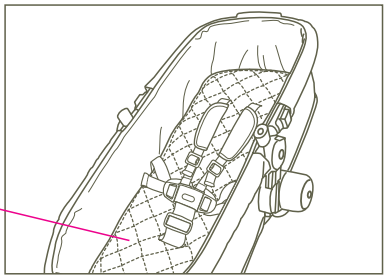


ベビーシートの使い方

⚠ 注意

○ベビーシートは必ずシートベルトを通してご使用ください。
○ベビーシートはイス形状では使用しないでください。お子様の座りが安定しません。

ベビーシートに肩ベルト、股ベルトを通してください。
※ベビーシートは裏表ありません。



シートベルト（股ベルト・腰ベルト・肩ベルト）の使い方

○シートベルトとは、股ベルト、腰ベルト、肩ベルトを合わせてシートベルトと呼びます。

⚠ 警告

○乳幼児を乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。バックルをかけずに乗せたり、シートベルトの締めかたが不完全ですと乳幼児が落下する恐れがあります。
○シートベルトは乳幼児の体に合わせて調節を行って、ねじれやゆるみが無いように締めてください。
○シートベルトを締めていても、乳幼児の抜け出しや、立ち上がりには十分に注意してください。個人差がありますので、シートベルトはいかなる場合でも抜け出しや立ち上がりを防止できるものではありません。常に目を離さないようにご注意ください。
○バックルボタンやベルトを乳幼児やお子様が操作しないように注意してください。
○洗濯などでシートベルトを取り外した場合は、取扱説明書に従って正しくセットしてください。
取り付け方が不完全な場合、使用中にベルトやバックルが抜ける恐れがあります。
取り付け後に引っ張って抜けないことを確認してください。
○肩ベルトカバーを必ず着用してください。
○肩ベルトは左右を交差させないでください。乳幼児の首を圧迫する恐れがあります。

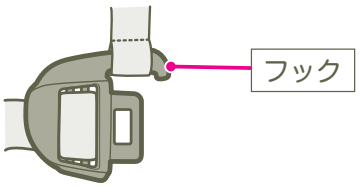
シートベルトの締め方、外し方

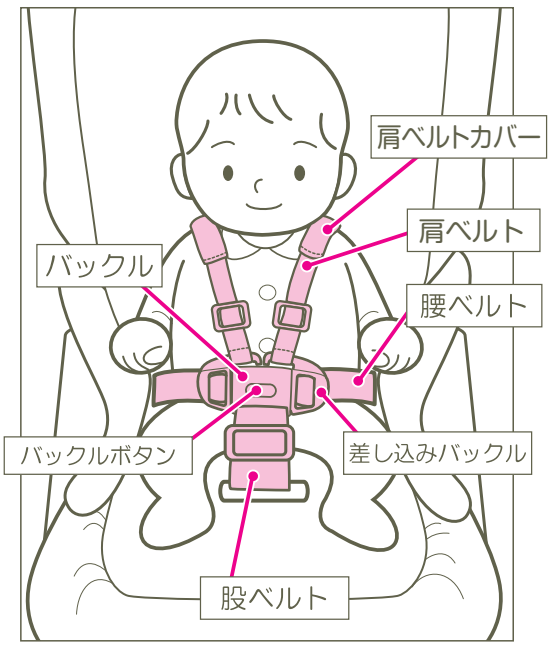
シートベルトを締めるとき

①肩ベルトを差込みバックルのフックに取付けます。

②乳幼児を座面にしっかりと座らせ、股の間から股ベルトを通します。
差し込みバックルをバックルに「カチッ!」と音がするまでしっかり差し込みます。

③腰ベルト、股ベルトを引っ張って、外れないことを確認してください。





シートベルトを外すとき

股ベルトのバックルボタンを押し、差込バックルを、バックルから外してください。
バックルボタンは中央部ではなく、差し込みバックルを外す側を押してください。中央部を押した場合は、左右の差し込みバックルが外れない場合があります。

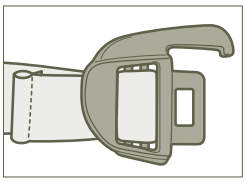
シートベルトの取り付けと調節のしかた

⚠ 警告

○シートベルトの取り付け･調節は下記の手順に従って行ってください。誤った取り付けを行うと、ベルトやバックルが抜け、乳幼児が落下する恐れがあります。
○シートベルトは長さ調節後、引っ張って、抜けないことを確認してください。

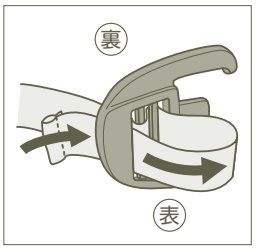
腰ベルト･股ベルト･肩ベルトの取り付け･調節のしかた

腰ベルトの調節

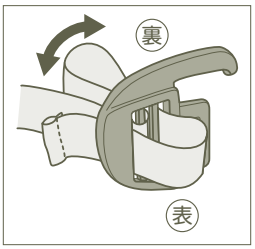


差し込みバックル

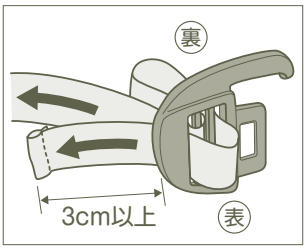
①バックル表側にある腰ベルトを図の方向へゆるめます。



②裏側のベルトをゆるめ、長さを調節します。



③表側のベルトを引っ張り、ずれないように固定します。



※腰ベルトの長さは3cm以上残るように調節してください。

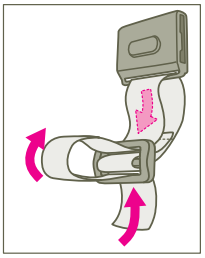
※腰ベルトは取り外しできません。

※腰ベルトはバックルとおなかの間に大人の指一本が入るくらいの隙間で調節します。

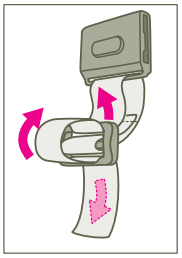
股ベルトの長さ調節のしかた

●短くする場合

①ベルトを図の方向へゆるめます。



②ゆるめたベルトをバックル方向へ引っ張り調節します。



●長くする場合

①点線矢印の方向へゆるめます。

②点線矢印の方向へ引っ張り調節します

※股ベルトは取り外しできません。

※股ベルトからバックルは外せません。

肩ベルトの取り外しかた長さ調節のしかた

⚠ 注意

○シートベルトを必ず締めて使用してください。肩ベルトが長すぎる状態で使用した場合に、首に巻きついたりする恐れがあります。

肩ベルトの位置調節

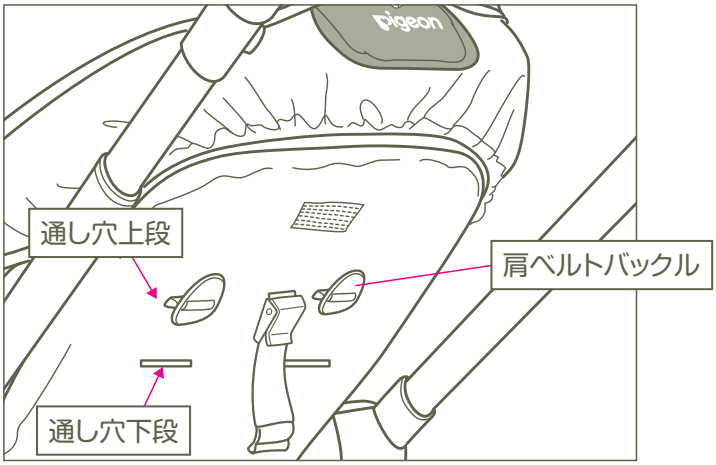
肩ベルトの位置は2段階（通し穴上段・下段）に調節できます。

（取り外し方）

①背もたれ部（外側）にある、肩ベルトバックルを通し穴から内側へ抜いてください。

（取り付け方）

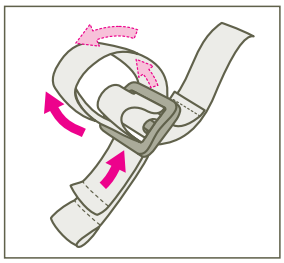
②肩ベルトバックルを背もたれ部（内側）から、通し穴を通してください。
通したら、バックルが通し穴から抜けないか内側からベルトを引っ張り確認してください。



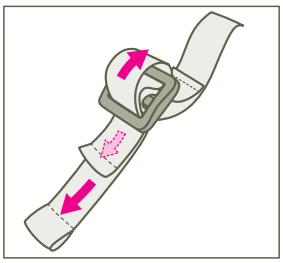
肩ベルトの長さ調節のしかた

●短くする場合

①上側のベルトを図の方向へゆるめます。



②下側のベルトを図の方向へ引っ張り調節します。



●長くする場合

①点線矢印の方向へゆるめます。

②上側のベルトを点線矢印の方向へ引っ張り調節します

ストッパーの使い方（後輪のみ）

⚠ 警告

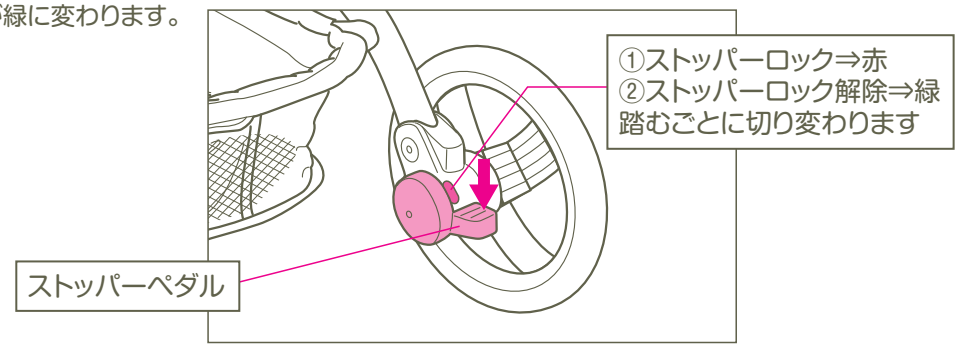
○ストッパーは構造上いかなる状態でもベビーカーを制止させることのできるものではありません。ストッパーをかけていても動き出す恐れがあります。

○乳幼児や荷物の有無に関わらず、ストッパーを過信せずに常にベビーカーから離れないようにしてください。

ストッパーをロックするとき、解除するとき

①右後輪のストッパーペダルを押し下げて（踏んで）ロックしてください。
表示が赤に変わります。（左右両方の後輪タイヤがロックします）
ロックがかかっているか、ベビーカーを軽く前後に動かして確認してください。

②ロックを解除するときは、ストッパーペダルを再び押し下げて（踏んで）ください。
表示が緑に変わります。



※ストッパーペダルはしっかり確実に踏んでください。

⚠ 注意

ストッパーをかけた状態で、無理に動かしたり、体重をかけて寄りかかるような行為は破損、転倒の恐れがあります。

⚠ 警告

P12～27に記載されているベビーカーの操作は必ず事前に平坦な路面でストッパーをロックしてから行ってください。
ロックしないと操作中にベビーカーが動き出したり、転倒することにより乳幼児が落下したりする恐れや、第三者に危害を加える恐れがあります。

キャスターの使い方（前輪のみ）

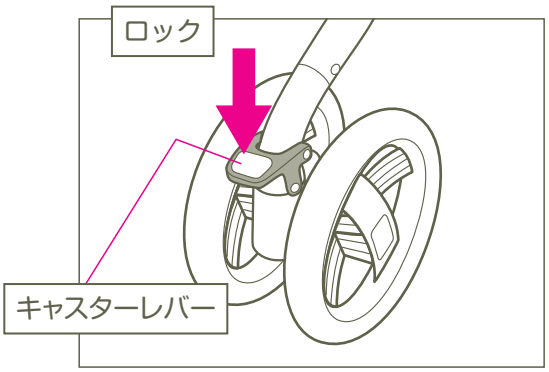
○平坦な道路で左右のキャスターのロックを解除すると車輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。

⚠ 警告

○凸凹道・坂道・傾斜地などの路面で走行する際には、キャスターを左右ともロックしてください。路面の状況によりタイヤが回転せず、ベビーカーが転倒したり、乳幼児が落下する恐れがあります。

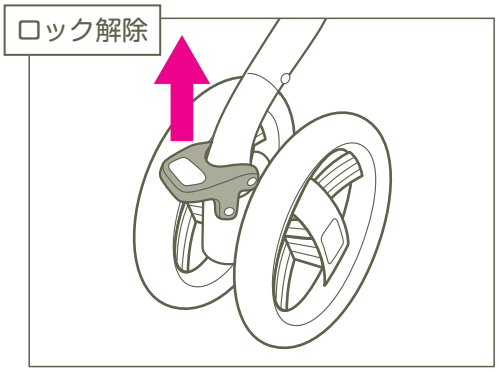
キャスターをロックするとき

キャスターレバーを押し下げてロックします。
キャスターがどの向きにあっても、キャスターレバーを押し下げ、直進位置まで動くと自動的にロックされます。
ベビーカーを軽く前後に動かして、ロックがかかっていることを確認してください。



キャスターのロックを解除するとき

ロックを解除するときは、キャスターレバーを上げてください。

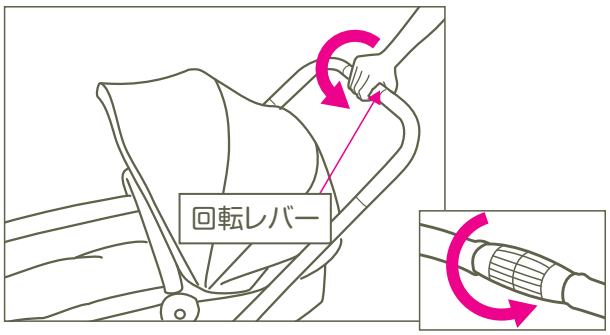


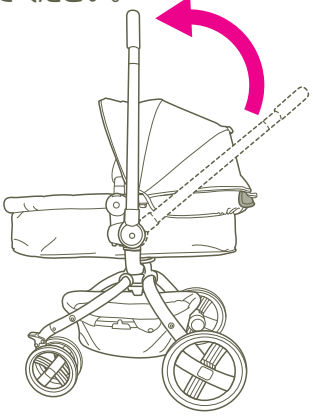
シートユニットの回転（背面⇔対面の切り替え）のしかた

⚠ 警告

○シートユニットを回転する操作時は、そばに人（特に小さなお子様）を近づけないで行ってください。指や手を挟んだりする恐れがあります。
○走行しながらのシートユニットの回転は行わないでください。
○シートユニットを回転するときは後輪タイヤをロックさせてから行ってください。
○走行時は回転レバーを触らないようにしてください。誤って回転レバーをひねってしまうと危険です。
○シートユニットは背面、対面のロック位置以外では使用しないでください。
○ハンドルを立てる時は、お子様の手がシートユニットのふちにかかっていないことを確認してください。指や手をはさんだりする恐れがあります。

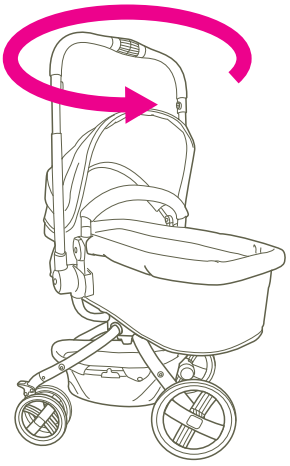
①図のようにストッパーをかけた状態で、回転レバーをひねり、ハンドルを垂直にします。
垂直の状態でハンドルは「カチッ」と音がしてロックされます。
※回転レバーはどちらの方向へひねってもハンドルを動かすことができます。
※ハンドルが上方向へ動きはじめたら、回転レバーのひねりを戻してください。

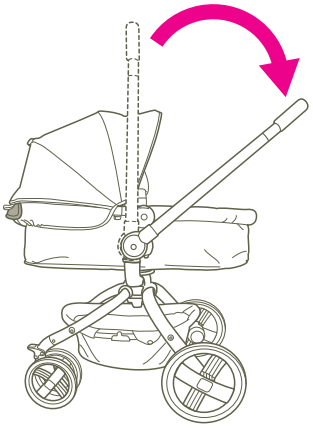




②図のようにハンドル（シートユニット）を180度回転させます。
再び、回転レバーをひねり、ハンドルを下げ元の位置に戻します。

※回転レバーをひねったままですと、ハンドルのロックがされないので、ハンドルが動きはじめたら、ひねりを戻してください。





シートユニットの変更（ベッド⇒イス）のしかた

○お子様が一人座りできる7ヵ月～（腰がすわってからの時期）になったらイス形状にしてご使用ができます。

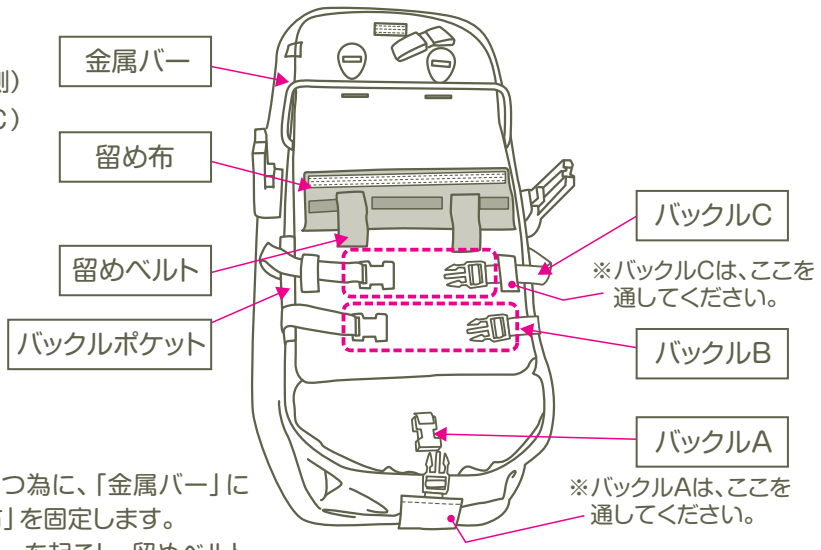
⚠ 警告

○シートユニットの変更は、必ずお子様が乗っていない状態で行ってください。
○イス形状に変更する場合は、必ず肩ベルトの通し穴位置が適切か確認してください。
○ベビーシートは、イス形状では使用しないでください。お子様の座りが安定しません。
○バックルをシートユニットの上側ではめないでください。
○バックルポケットには、バックル以外の物は入れないでください。お子様が取り出して飲み込んだり、ケガをする恐れがあります。

※イス形状時には、ベビーシートは使用しないでください。

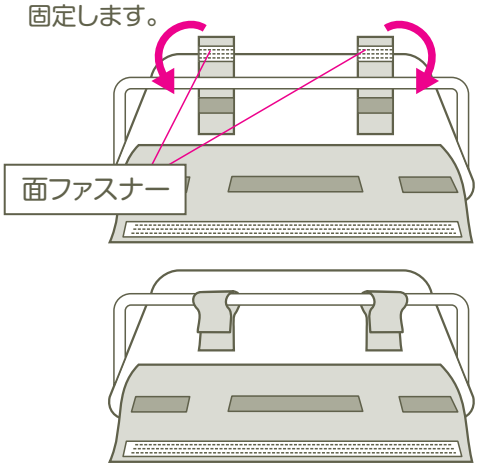
①バックルの取り付け

図（シートユニット裏側）のバックル（A、B、C）をはめてください。



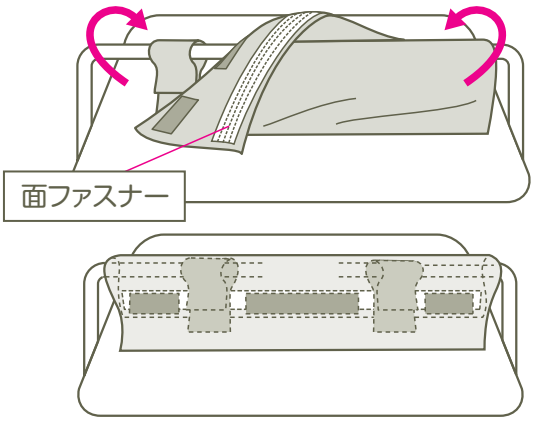
②金属バーの固定

イス形状をしっかり保つ為に、「金属バー」に「留めベルト」「留め布」を固定します。
まず図のように金属バーを起こし、留めベルト（左右）を金属バーに巻き、面ファスナーで固定します。



※留めベルトはしっかり引っ張った状態で固定してください

次に金属バーと留めベルトを留め布で覆い、面ファスナーで固定します。



※しっかりと留め布を張った状態で固定してください。

シートリクライニングの調節のしかた

○リクライニングはリクライニングレバーによる3段階の調節とリクライニングストラップによる微調整ができます。

⚠ 警告

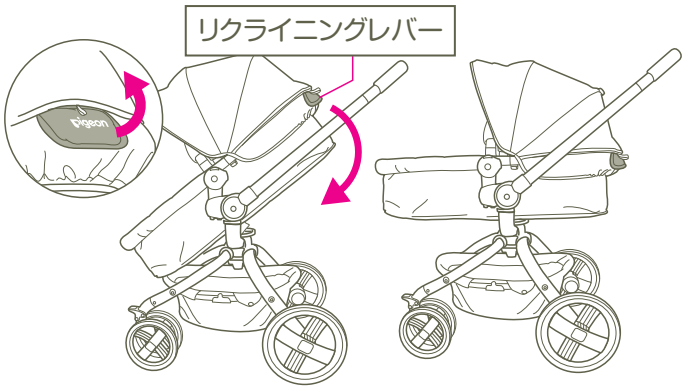
○リクライニングレバーはお子様に触れさせないようにしてください。指や手をはさんだりする恐れがあります。
○ベビーカーを押しながらリクライニングの操作をしないでください。バランスを崩す恐れがあります。
○イス形状で使用のときは、リクライニングを一番倒した状態で使用しないでください。
○ベット形状で使用のときは、一番倒した状態で使用し、リクライニングを上げないでください。

⚠ 注意

○乳幼児を座面に座らせたままリクライニングを倒す操作をするときは、リクライニング角度が急に変わらないように、乳幼児の体重を手で支えながら行ってください。
○1人座りができない乳幼児の場合は、リクライニングを倒して寝かせた状態で使用してください。
○乳幼児の頭がシートユニット上端に当たる場合は、リクライニングを一番倒した状態で使用しないでください。
○体重が背もたれにかかった状態で無理にリクライニングを起こさないでください。故障の原因になります。
○リクライニングストラップに荷物などかけないでください。

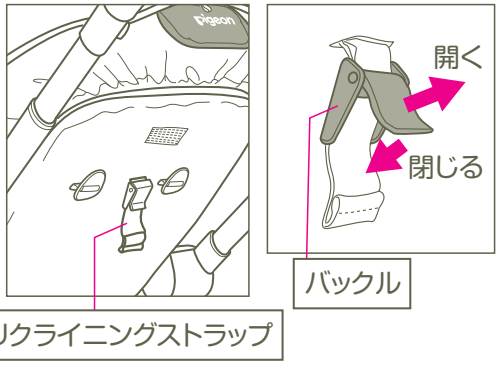
①リクライニングレバーによる調節

シートユニット上端にあるリクライニングレバーを上げることによって、ロックが解除され角度を調節することができます。
角度は3段階に調節できます。
調節をおこなった後、ロックされているか確認してください。



②リクライニングストラップによる調整

リクライニング角度の微調整を行うことができます。
シート背面にあるリクライニングストラップのバックルを開き、自由な位置で固定（閉じる）すると、そこの位置で背もたれ部が留まり、リクライニング角度を調整することができます。
※バックルを上へずらすとシートは起きる方向、下へずらすとシートは寝る方向となります。
※調整後バックルが確実に閉じて固定されていることを確認してください。



ハンドル高さの調節のしかた

○ハンドル高さは4段階に調節できます。

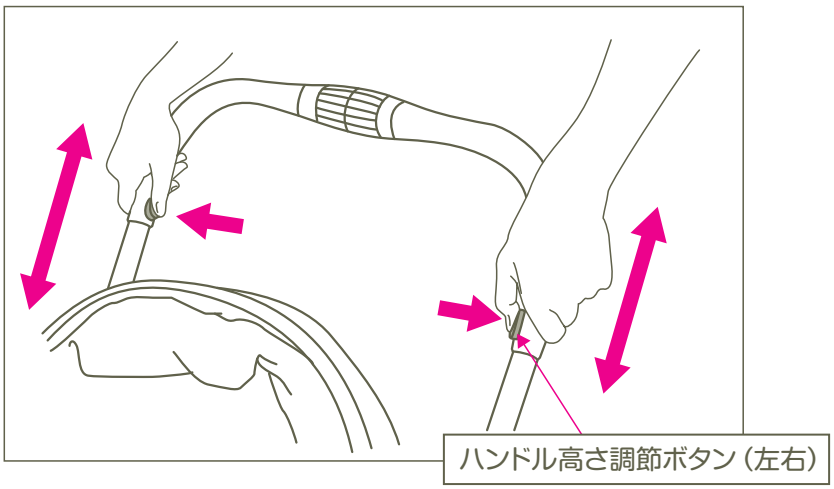
⚠ 注意

○必ず止まった状態で高さ調節してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。

図のように、ハンドルの両側にあるハンドル高さ調節ボタンを同時に押しながら、ハンドルをスライドして高さを調節することができます。ボタンを離すとその付近の所定の位置で「カチッ」と音がしてロックがかかります。

※調節後は両側のスライドがロックされておりハンドルが動かないことを確認してください。

※ハンドルの高さを一番下段にする際、スライド部で手指を挟まないよう気をつけてください。



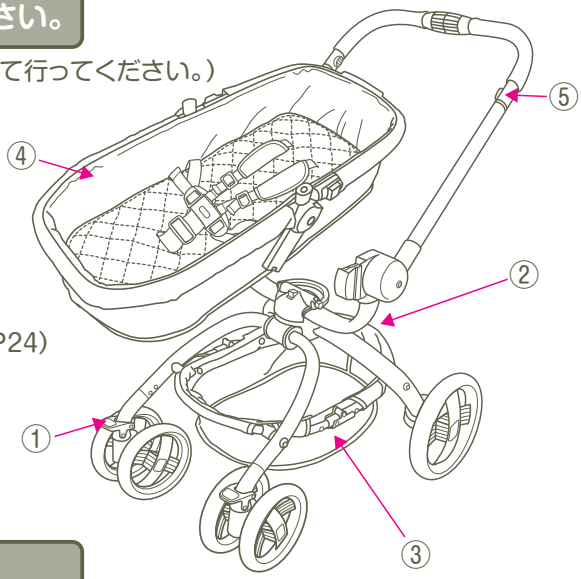
ベビーカーのおりたたみ方

○ベビーカー車体とシートユニットを分離しておりたたむことができます。

おりたたむ前に下記の操作を行ってください。

（下記の操作はそれぞれの操作記載ページを参照して行ってください。）

①前輪タイヤのキャスターを
　ロックしてください。（P20）
②後輪のストッパーをロックしてください。（P19）
③カゴの荷物を取り出してください。
④シートユニットを取り外してください。（P13）
⑤ハンドル高さを一番低い位置にしてください。（P24）



ベビーカー車体のおりたたみ

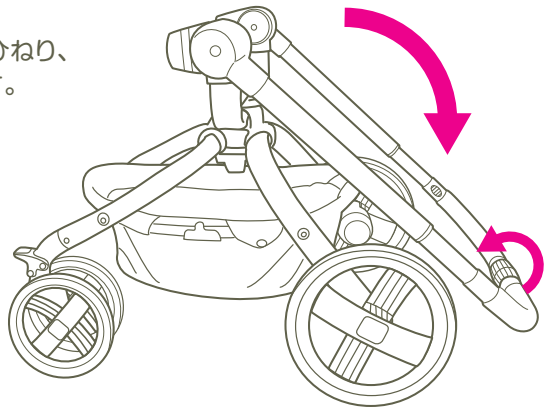
⚠ 警告

○ベビーカーの開閉の操作時は、そばに人（特に小さいお子様）を近づけないで行ってください。
指や手をはさんだりする恐れがあります。

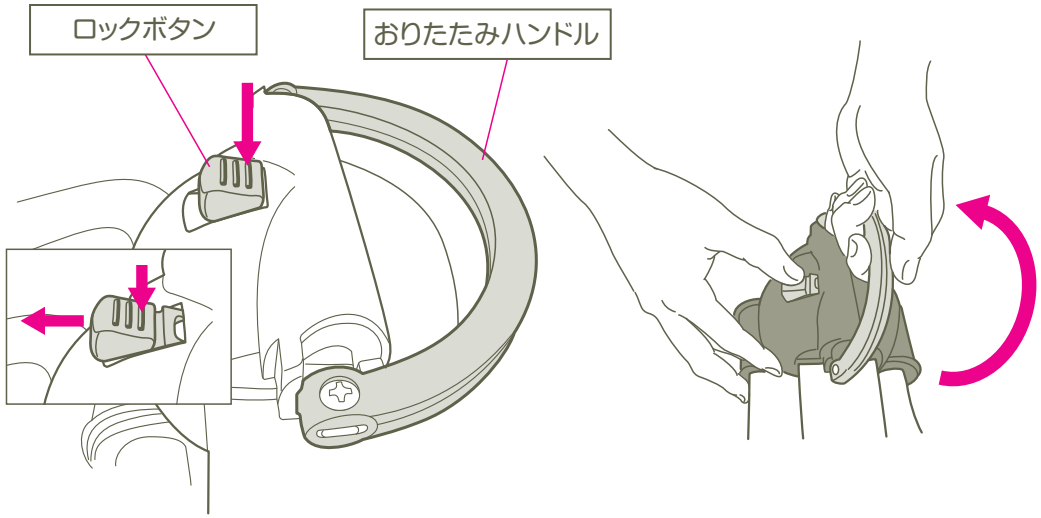
⚠ 注意

○おりたたむときに、引っかかりや挟み込みなどを感じたら、おりたたむのを一旦止めて、荷物や玩具・シートベルトなどが引っかかっていないかを確認してください。無理におりたたむと故障の恐れがあります。
○おりたたむときは、カゴから荷物を取り出してください。

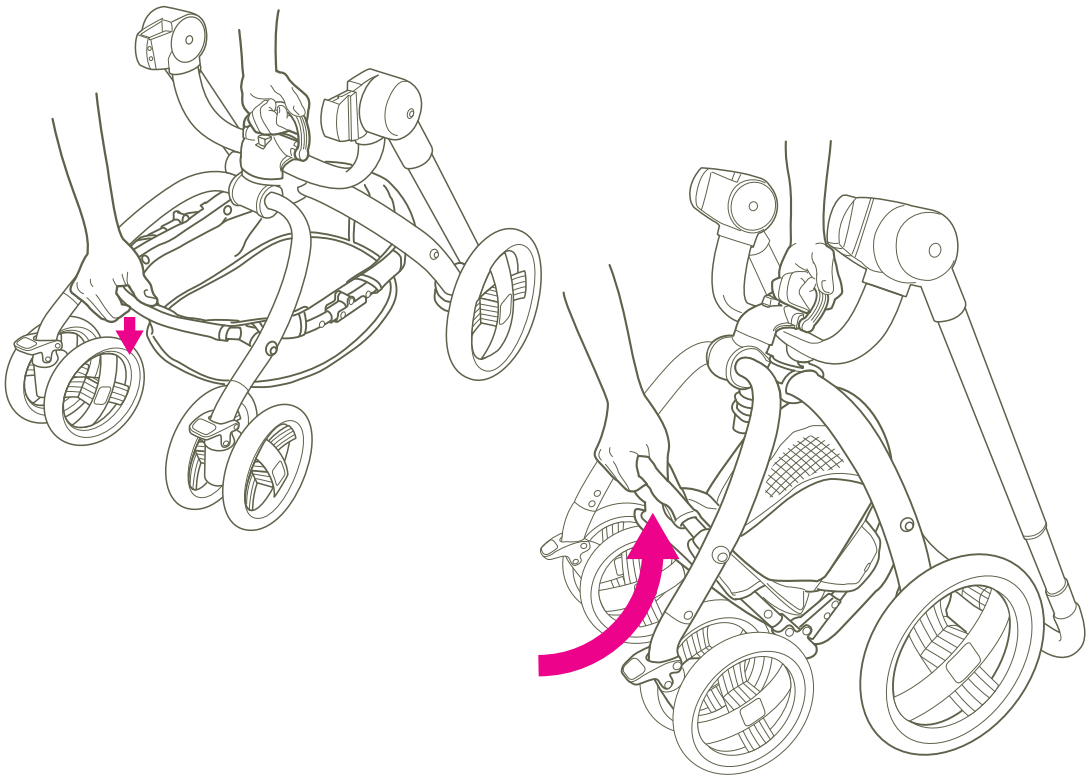
①図のように回転レバーをひねり、
　ハンドルを下に降ろします。



②図のようにロックボタンを押しながら、矢印の方向へスライドさせます。次にロックボタンをスライドさせた状態でおりたたみハンドルを引き上げます。



③図のようにおりたたみハンドルを引き上げたまま、ロックボタンから手を離し、カゴの枠を軽く押すように上げると、ベビーカーはおりたたまれます。



ベビーカーの開き方

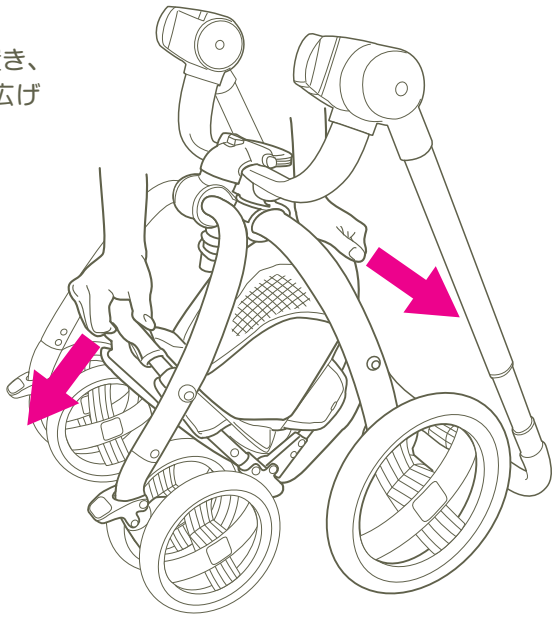
警告

○ベビーカーの開閉の操作時は、そばに人（特に小さいお子様）を近づけないで行ってください。
指や手をはさんだりする恐れがあります。

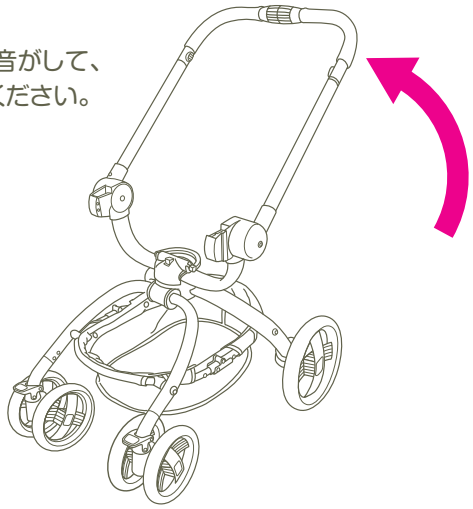
注意

○開くときに、引っかかりやはさみ込みなどを感じたら、開くのを一旦止めて、荷物や玩具などが引っかかっていないかを確認してください。
無理に開くと故障の恐れがあります。

①図のようにベビーカー車体を置き、カゴの前後のふちを手で押し広げます。



②図のようにハンドルが「カチッ」と音がして、ロックするところまで持ち上げてください。



カゴの使い方

警告

○5kg以上の荷物は乗せないでください。カゴが破損する恐れがあります。またベビーカーがバランスを崩して転倒し乳幼児が落下する恐れがあります。

注意

○割れ物、ビン類は入れないでください。走行中の衝撃などで破損する恐れがあります。

○角のとがったものやカゴからはみ出すものは入れないでください。
カゴの変形、破れの原因になります。

○カゴ中央部に荷重が集中すると、段差乗り越え時などにカゴの底をこする恐れがあります。

○カゴは洗濯機での洗濯はできません。お手入れの方法はP29を参照してください。

日常点検について

○締結部品のゆるみ、部品の欠損及び動作不良などの異常がないか適時点検してください。
○危険ですから、むやみに改造や分解はしないでください。
○お手入れの際に取り外した製品は、本書をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。
取り外したままですとお子様が危険です。

清掃について

快適に使用していただくために、汚れたら清掃してください。

⚠ 注意

※製品の特性上、ご使用方法によっては若干色落ち・色あせすることがあります。
※一般の洗濯用洗剤が使用できますが、蛍光漂白剤入りの洗剤の使用は避けてください。
事前に洗剤の注意書きもお読みください。
※シートユニットは洗濯できません。布などで汚れを拭き取るだけにしてください。濡らしてしまった場合は十分に乾燥させ、中の水分を取り除いてください。
※保管の状態により、シートユニットにカビが発生することがあります。
こまめに清掃をし、清潔に保つよう心がけてください。

●ベビーシート、フロントガードカバー、肩ベルトカバー

丸洗いできますが、洗濯機は使わず、下記の方法に従って洗濯してください。

洗濯機の使用はできません。液温は30℃以下としてやさしく手洗いしてください。

漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使用しないでください。

アイロンがけは行わないでください。

ドライクリーニングは行わないでください。

洗濯後は十分にすすぎ、かるく脱水します。絞らないでください。

洗濯したものを干す時は、形を整えて日陰に平干ししてください。乾燥機は使用しないでください。

●幌、カゴ

丸洗いはできません。下記の方法に従って洗浄を行ってください。
○液中につけず、30℃以下の液温の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れを拭き取ってください。
○洗剤を使用して汚れをとったあとは、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回拭き取ってください。
○乾かすときは、乾いた布で水分を拭き取り、陰干ししてください。
※幌差込先端部などでケガをしないように注意してください。

車体の清掃について

⚠ 注意

○定期的に清掃を行ってください。車体に泥やホコリなどがついたままで使用しないでください。
○車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化、退色の原因となります。

使用前にタイヤやアルミフレームについた、泥、ホコリなどはよく絞った濡れタオルなどを使ってきれいに拭き取ってください。
汚れがひどい時は、薄めた中性洗剤を含んだ布で拭いてください。中性洗剤が残らないように最後によく絞った濡れタオルなどを使ってきれいに拭き取ってください。

注油について

⚠ 警告

本製品に注油はしないでください。
動作不良や事故の恐れがあります。

廃棄方法について

お住まいの各自治体の廃棄方法に従って処分してください。
（環境保護のため、適正な廃棄をせずに放置することはおやめください。）

保管のしかた

⚠ 注意

○火の近くや高温になる場所、日光が常に当たりつづける場所、雨や水のかかる場所、湿気の多い場所での放置、保管は行わないでください。故障・変形・カビ発生の原因となります。
○ベビーカーの上に荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管しないでください。故障・変形の原因となります。
○やむなく屋外で保管する場合はカバーをおかけください。

アフターサービスについて

ご使用中に故障などが発生したり、点検中に破損などを発見した場合、部品の交換、修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、直ちにご使用を中止し、製品名、後脚に貼ってあるシリアル番号をご確認の上、お買い上げの販売店または、当社修理センターまでご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。

保証期間中（お買い上げ日より1年間）に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定に基づき無償修理いたします。
保証期間を終了した場合の修理、部品販売については有償にて承ります。
ご購入日より1年以上経過した製品の修理においては製品修理箇所以外の品質保証はいたしかねます。修理箇所の保証期間は3ヵ月です。
製品のご購入後3年間は修理を申し受けますが、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。）

○ご使用中にベビーカーが破損したり次のような場合には、ただちに使用を中止してください。

- ●タイヤが著しく磨耗したり、片減りが発生した時。
  車輪は消耗品ですので交換してください。
  交換は有償となります。
- ●ネジ・リベットや車輪の緩み、シート・ベルトの破れ・切れ・ほつれが生じた時。
- ●あきらかに操作性に異常を感じた時や、走行に障害を感じた時。
- ●車体が変形したり、パイプの曲がりや損傷が生じた時。
- ●フロントガードや幌など、取り外し可能な付属部品を紛失した時。
- ●プラスチック部品や金属部品のひび割れや変形・破損が生じた時。
- ●車輪が円滑に回転しない時。

部品の交換、修理が必要な箇所を発見した時はただちに使用を中止して、当社修理センターまでご連絡ください。（裏表紙参照）
○本製品の修理や部品販売の際は、修理・販売部品の色や仕様が今までご使用いただいていたものと異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
○ご使用開始後、5年間を経過した製品については、ご使用を中止してください。

SGマークの被害者救済制度

SGマークが表示されたベビーカーを、消費者の皆さまが正常に使用していたとき、製品の欠陥により万一事故が発生し、お子様が損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償いたします。
ただし、お買い上げ日より4年以内です。

●賠償についてのご注意

- 認定したベビーカーそのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。
- 賠償金は製品安全協会がそれぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

●賠償金の請求について

損害を被った消費者（赤ちゃんなどの場合は保護者でもよい）が賠償金を請求するときは、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定する所に届けてください。

財団法人　製品安全協会
〒110-0012　東京都台東区竜泉2−20−2　ミサワホームズ三ノ輪　2F
TEL　03（5808）3303

●事故賠償に必要な項目

①事故の原因となったベビーカーの現品
　イ）製品の名称、SGマーク番号　ロ）製品の購入先、購入年月日
②事故発生の状況
　イ）事故発生年月日　ロ）事故発生場所　ハ）事故発生状況
③被害の状況
　イ）被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所
　ロ）被害の状況と程度（医師の証明書）

保証について 保証は日本国内においてのみ有効です

ご使用中に万一、故障が発生した場合には、現品に保証書を添えて、
お買い上げの販売店またはピジョン（株）修理センターへ修理をご依頼ください。

保　証　書

保証規定

1．有効保証期間は[お買い上げ後1年間]です。
2．製造中止後の製品は部品在庫がなくなった場合、修理出来ないこともあります。
3．一度ご使用になった製品は、原則としてお取替えすることはできません。
4．保証期間内に取扱説明書に基づく正常な使用方法において、万一故障した場合には
　無償修理を行います、お客様の誤使用などによる故障においては有償修理となります。
5．保証期間内であっても下記の項目に該当するものは有償修理となります。
　A、プラスチック部品の自然劣化による変退色。
　B、アルミフレームの自然劣化。（塗装、メッキはがれ）
　C、お客様の誤使用・保管不備・手入れ不足・改造や不当な修理による故障。
　D、駆動部・タイヤの自然消耗。
　E、縫製品のやぶれ・すり切れ・ほつれなど。
　F、火災・地震・水害・落雷などの天災地変などの不可抗力、事故などによる故障。
　G、故障の原因が本製品以外に起因する場合。
　H、一般のお客様の使用以外で、業務用などにご使用され故障した場合。
　I、保証書の必要記入項目に不備がある場合、字句を書き換えられた場合。
　J、本書のご提示がない場合。
6．有償修理時に要する発送費、諸経費はお客様のご負担となります。
7．保証書は再発行いたしません。（大切に保管してください）
8．本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。

○お買い上げ後、ただちに下の欄に必要項目を記入してください。保証は日本国内においてのみ有効です。

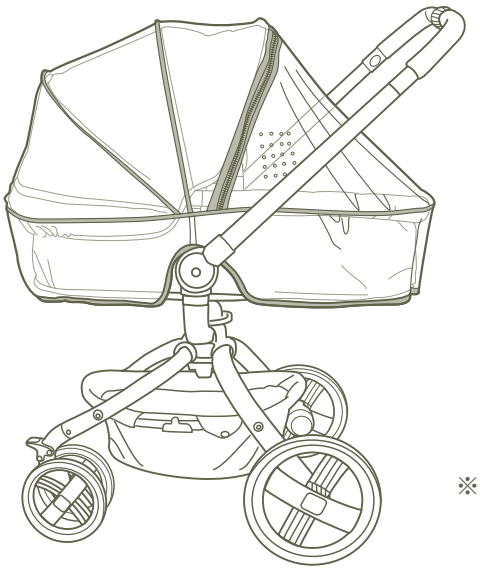
品　名　ピジョンベビーカー Pixy-turn	シリアルNo.（後脚に貼付のシールに記載）
保証期間　お買い上げ日より1年間　お買い上げ日　　年　　月　　日	
お客様	お名前 ご住所　〒 電話　　（　　）
販売店	店名 住所　〒 電話　　（　　）

○この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無償修理をお約束するものです。従いまして、
この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

オプション（別売り）

ピジョンベビーカー Pixy-turn専用レインカバー（商品コード:06262）

シートユニットがベッド状態でもイス状態でも使用できます。また、背面・対面切り替えターンもそのままできます。



※イラストはベッド状態

MEMO

お願い
製品は品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。ご了承ください。

○製品の各種お問い合わせ先
ピジョン株式会社　お客様相談室
〒103-8480　東京都中央区日本橋久松町4-4
TEL 03（5645）1235　　受付時間　9時～17時（土・日・祝日を除く）

○製品の修理、部品の購入などに関するお問い合わせ
ピジョン株式会社　修理センター
〒300-0315　茨城県稲敷郡阿見町大字香澄の里36-3　筑波南第一工業団地
TEL 029（889）5707　　受付時間　9時～12時、13時～16時30分（土・日・祝日を除く）